

令和6年度

# 事業年報



一般財団法人 茨城県メディカルセンター



## ま え が き



日頃よりセンター事業の運営につきましては、特段のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年度の事業につきましては、一日人間ドックをはじめ、事業所・学校健診などセンターの主軸事業を積極的に展開してまいりました。

総合健診事業では、人間ドック棟での稼働開始から丸6年が経過し、一日人間ドックの目標2万人を2年連続で達成することができました。また、女性健診においては、筑波大学の支援により、安定した事業運営が可能となったことで前年度並みの実績を残しております。しかし、オプション検査については、一日人間ドックが増加しているに

もかわらず、ここ数年伸び悩んでいることから、更なる広報宣伝が重要となっております。

健康増進事業では、コロナ禍以降、特定保健指導の利用者が減少しておりますことから、令和6年4月から総合健診部内に新たに「人間ドックフォローアップ室」を設置し、フォローアップ体制の強化を図りました。

産業保健事業では、少子高齢化の影響で人口減少が進む中においても、例年並みの実績を残しております。特に労働人口の高齢化により、若年層の受診が多い一般健康診断が減少している一方で、生活習慣病健診に転換する中高年層が増えたことから実績が伸びております。また、ストレスチェック検査については、Webでの受検環境を整備したことで、徐々に実績が増えています。

学校保健事業では、学校保健安全法に基づき、県内の公立学校のほか、私立学校、大学、各種専門学校の健康診断を計画どおり実施することができました。少子化により受診対象者が大幅に減少しておりますが、一部の私立学校で検査項目が増えたことから、前年度を上回る実績を残すことができました。しかしながら、今後も生徒数の減少は避けられないことから、引き続き健診業務の効率化に努めてまいります。

茨城県からの受託事業であります聴覚事業については、茨城県の事業スキーム見直しにより、委託事業（公益事業）と自主事業に分けて事業を継続しております。当センターは、乳幼児精密聴力検査を実施する県内2医療機関のうちの一つであることから、その責務を引続き全うしてまいります。

視覚事業については、茨城県の委託事業が終了したことから、令和7年度をもって事業閉鎖が決定しております。事業終了までに通院患者を次の転院先に繋げるよう、着実に取り組んでまいります。

今後も、設立母体である茨城県医師会との連携を強化しながら、健診施設の充実や検査精度の維持向上に努め、県民の皆さまの健康保持・増進を支援してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに令和6年度事業年報を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和7年11月

一般財団法人 茨城県メディカルセンター

理事長 植木 浜 一



# 目 次

## 第1章 各事業の運営状況

事業の概要	1
1 自主事業実績	1
(1) 総合健診事業	1
(2) 健康増進事業	2
(3) 産業保健事業	2
(4) 学校保健事業	2
(5) 視覚事業	2
(6) 聴覚事業	2
2 委託事業実績	2
(1) 聴覚事業	2
<b>I 総合健診事業</b>	
1 概 要	3
(1) 一日人間ドック	3
(2) 女性健診	3
(3) オプション検査	3
(4) 単独健診	3
(5) 受診者の状況	4
2 健診結果成績	7
(1) 健診結果成績	7
(2) 総合判定比	8
3 検査別成績	9
(1) 肥満	10
(2) 血圧	11
(3) 心電図	12
(4) 眼科	13
(5) 聴力	14
(6) 呼吸機能	15
(7) 胸部X線	16
(8) 胸部C T	17
(9) 上部消化管X線	18
(10) 上部消化管内視鏡	19
(11) 腹部超音波	20
(12) 肝機能	21
(13) 腎機能	22
(14) 血液学	23
(15) 糖代謝	24
(16) 脂質代謝	25
(17) 尿酸	26
(18) 血清学	27
(19) 尿検査	28
(20) 便潜血	29
(21) 肝炎	30
(22) P S A	31

23	A F P	32
24	C E A / C A 1 9 - 9	33
25	C A 1 2 5	34
26	マンモグラフィ	35
27	乳房超音波	36
28	子宮検診	37
29	経膈超音波	38
30	H P V 検査	39
31	リウマチ	40
32	甲状腺機能検査	41
33	喀たん細胞診検査	42
34	心臓超音波	43
35	頸部超音波	44
36	動脈硬化	45
37	B N P	46
38	高感度トロポニン	47
39	胃がんリスク層別化検査（A B C法）	48
40	骨粗しょう症検査	49
41	ビタミンD	50
42	亜鉛	51
4	フォローアップ事業成績	52
(1)	精密検査受診実績	52
(2)	確定診断を受けた臓器別がん症例数	52

## II 健康増進事業

1	概要	53
(1)	指導方法	53
(2)	特定保健指導	53
(3)	特定保健指導の対象者の選定と階層化	54
2	特定保健指導実績	55
(1)	保健指導者数	55
(2)	性別・年齢別受診者数	55
(3)	メタボリック判定	56
(4)	初回面談時の行動変容ステージ	56
(5)	修了者の体重変化	57
(6)	喫煙	57

## III 産業保健事業

1	概要	59
(1)	一般健康診断	59
(2)	生活習慣病健診	59
(3)	特殊健康診断	59
(4)	ストレスチェック検査	59
2	各種健康診断の実績	60
(1)	一般健康診断	60
(2)	生活習慣病健診	60

(3) 特殊健康診断	60
(4) ストレスチェック検査	60
3 一般健診及び生活習慣病健診結果成績	61
4 検査別成績	62
(1) 肥満	63
(2) 血圧	64
(3) 心電図	65
(4) 眼科	66
(5) 聴力	67
(6) 呼吸機能	68
(7) 胸部X線	69
(8) 上部消化管X線	70
(9) 腹部超音波	71
(10) 肝機能	72
(11) 腎機能	73
(12) 血液学	74
(13) 糖代謝	75
(14) 脂質代謝	76
(15) 尿酸	77
(16) 血清学	78
(17) 尿検査	79
(18) 便潜血	80
(19) 肝炎	81
(20) P S A	82
(21) A F P	83
(22) C E A / C A 1 9 - 9	84
(23) C A 1 2 5	85
(24) リウマチ	86
(25) 甲状腺機能検査	87
(26) 喀たん細胞診検査	88
(27) NT-pro B N P	89
(28) 胃がんリスク層別化検査 (A B C 法)	90
5 特殊健康診断結果成績	91
(1) 有機溶剤	91
(2) 電離放射線	91
(3) 鉛	91
(4) じん肺	91
(5) 石綿	92
(6) 特定化学物質	92
(7) 有害光線	92
(8) 振動工具	92
(9) 騒音	93
(10) 情報機器作業	93
<b>IV 学校保健事業</b>	
1 概 要	95
(1) 検査項目と対象者	95

2 各種検診実績	96
(1) 受診者数	96
(2) 幼児・児童・生徒・学生成績	97

## V 視覚事業

1 概要	99
(1) 視覚センターにおける視覚精密検査	99
(2) 年度別事業実績の推移	99
2 事業実績の内容	99

## VI 聴覚事業

1 概要	101
(1) 業務の内容	101
(2) 実績	102
(3) 受診者の居住分布	102
2 業務別の様態	104
(1) 診断の部（実人数）	104
(2) (リ)ハピリテーションの部	109
(3) 管理の部	112

## 第2章 概要

1 法人の運営組織図	115
2 役員，評議員，顧問，相談役，参与，名誉所長，委員会名簿	116
3 職員の配置状況	117
4 施設の概要	118
5 センターの沿革	122
法人のあゆみ	122
6 主な医用機器及びコンピュータ機器	128
(1) 総合健診部	128
(2) 健診普及部	129
(3) 臨床検査業務／検査室関係	130
(4) 視覚検診／聴覚検診関係	131
7 学会及び研修会	133

## 第3章 業績目録

1 学会・研究発表	137
2 研修会・講習会	138